

根圏環境改善

天然活力資材

安心!安全!

畑の環境保全



全国優良種苗店以外ではお求め出来ません



破竹の勢い®

100%

国内産猛宗竹使用

蒸留精製

純粹 竹酢原液

HACHIKU NO IKIOI

多種豊富なミネラルと竹酢パワー

未来の環境保全農材

減農薬資材で健全農作物!!

- 畑を浄化し病害虫や病害菌からの忌避力を高め発生を抑止します。
- 土壌汚染・連作障害等を軽減し、減農薬による強健な有機栽培の農作物の生産が可能となります。
- 多種のミネラルが豊富で高品質の美味しい健全な健康野菜が出来ます。
- 種子の発芽や苗の発根活着を早め、土壌劣化を改善、活力化し野菜や果樹を豊作にいたします。



酢酸群は病害菌(虫)に強い!!

- 連続使用で微生物増殖と多種のミネラル含有で土壌の積年の負荷を軽減。土壌バランスも改善され地力が自然に回復、肥効率を高めます。
- 土壌と水質を活性化し、あらゆる農作物の根圏環境を整え、天然良質の野菜と果物の生産を可能にし、糖度やミネラル分のアップに不可欠です。

使用法

- 一週間～10日間隔、標準希釈倍数1000倍。
- 播種、幼苗時は、1000倍以上をお守り下さい。
- 成長期、玉肥大前、栽培促進時は、500倍～800倍での施用をおすすめします。
- マルチ時は、定植一ヶ月前に、500倍前後で、一作毎の土壌灌注をおすすめします。
- 播種、定植前の土作りでは、15日～1ヶ月前に500倍前後でウネ毎に灌注して下さい。
- 梅雨期前後や、高温多湿時、病害虫発生前、早めに500倍前後でご使用下さい。
- 自家用ボカシ(堆肥)製造時は、100倍～300倍液でタップリ灌注下さい。発酵を早め、腐植がぐーんと上がります。
- 礫耕(養液)栽培では2000倍～3000倍で、月に4～5回施用下さい。
- ごく一般的な農薬や液肥、活力剤との混用は可。効果かつ省力的でおすすめします。



良品の証 分析表

分析項目	分析結果	単位	分析方法
pH(測定時水温)	2.9(25℃)	—	JIS K 0102,12.1
電気伝導率	80.6	mS/m	JIS K 0102,13
全窒素	92.6	mg/L	JIS K 0102,45.4
りん酸(P ₂ O ₅)	0.05	mg/L	全りん(JIS K 0120,46.3.3)より換算
カリウム	1未満	mg/L	ICP発光分析法
有機体炭素(TOC)	25200	mg/L	JIS K 0102,22.1 備考1
酢酸	17000	mg/L	ガスクロマトグラフ(FID)法
プロピオン酸	1700	mg/L	ガスクロマトグラフ(FID)法

測定計量証明事業登録 福岡県第34号
株式会社 太平環境科学センター
福岡市博多区金の隈2丁目2番31号

分析項目	分析結果	単位	分析方法
ノルマル酪酸	400	mg/L	ガスクロマトグラフ(FID)法
イソ吉草酸	100未満	mg/L	ガスクロマトグラフ(FID)法
ノルマル吉草酸	100	mg/L	ガスクロマトグラフ(FID)法
有機酸総量(酢酸として)	21200	mg/L	滴定法
タール分	88	mg/L	ノルマルヘキサン抽出、重量法
比重	1.002(27℃)	—	比重計による

C/N比(計算による): 27.2
結果欄の未満表示の数値は定額下限値を示す。

ご注意

- ※ 強アルカリ農薬との混用は避けて下さい。
- ※ 液肥や農薬との混合使用の際は、希釈後に本液を添加して下さい。
- ※ 長時間の直射日光、高熱での保管は避けて下さい。

- ※ 栓を固く止め、お子様の誤飲に十分ご注意下さい。
- ※ 稀にごく僅か沈殿することもあります。品質、効果に問題なく、良く振って施用下さい。